

第127期  
事業報告書

平成21年4月1日から  
平成22年3月31日まで



ISO9001 認証  
JQA-1050



ISO14001 認証  
JQA-EM0365

大阪府東大阪市四条町12番8号

株式会社 ロブテックス



## 新商品 ハイブリッドモンキレンチXプレミアムシリーズ

機能美 = 高機能 + 美しさ



### ●G-LESS (ガタレス) 機構 (PAT.P)

モンキレンチ初！G-LESS機構により、タテ方向のガタ（遊び）を無くす事に成功いたしました。従来のモンキレンチにはタテ方向にガタがあり、なめる原因の一つでもありました。

ハイブリッドモンキレンチXプレミアムシリーズは下アゴにボールを入れることによりタテ方向のガタを解消！スキマが小さくなり、精度が向上しました。(PAT.P)

### ●B-less (バックラッシュレス) 機構

下アゴのラックをウォームAとウォームBで挟み込み、スキマを無くしました。

### ●K-Finish (鏡面仕上げ)

耐食性、耐摩耗性を追及した高級クロムめっき。重厚感のある美しい、ケイシルバーとケイブラック。

### ●RFH (ラウンドフォルムハンドル)

手にやさしい新形状（R形状）ハンドル。

### ●X-DRIVE (三面ドライブ)

従来品（二面ドライブ）より応力が分散されており、トルクがかかりやすく、なめにくく、安定した締付～ゆるめが可能です。

## トピックス



## QCサークル発表大会 『会長賞』受賞！

2009年12月8日、大阪府品質管理協会（後援：大阪府）のQCサークル発表大会に、鳥取ロブスターツール株式会社の製造4Gの「ロブくん」サークルが参加し、見事！知事賞に続く「会長賞」を受賞しました。

今後もQCサークル活動により、ますます現場力を発揮して業績アップに繋がります。

## 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。

さて、ここに第127期の事業報告書をお届けいたしますので、ご高覧たまわりますようお願い申し上げます。

当連結会計年度のわが国経済は、アジア向けを中心に輸出・生産の回復や経済対策効果により一部に景気の持ち直しが見られましたものの、雇用不安による個人消費の低迷や設備投資の抑制など依然として厳しい状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループは2009年度の経営スローガンとして「グループ全員一丸となり、飛躍に向けての足場を固め、新しいロブテックスを創る」を掲げ、グループ全員が同じ思いを持ち、何を成すべきかを考え、企業体質の更なる改善による基礎固めを行い、創業120年の歴史を超え、「新生ロブテックス」へと変革する初年度として活動してまいりました。営業部門におきましては、マーケティング機能を充実させ、商品戦略の方向性を明確にいたしますと共に、特約店制度におけるポイント制の実施やエンドユーザーへの営業活動の深耕による売上確保並びに営業サポート部門の設置による営業活動の効率化を図ってまいりました。生産・開発部門におきましては、多能工化・標準化・単純化によるスリムな生産体制での利益確保や高付加価値商品への取り組みによる商品開発力の強化を目指しますと共に、提案型商品及び次世代商品の開発を強化し、売上の伸長を図ってまいりました。その結果、売上高は前年同期比14.3%減の45億3千2百万円（前年同期52億9千1百万円）となりましたが、利益面では、営業利益で2億4千8百万円（前年同期は2億3千4百万円の営業損失）、経常利益で1億5千7百万円（同3億4千4百万円の経常損失）、当期純利益で9千万円（同3億3千4百万円の純損失）と利益を確保することができました。

事業別の概要は次のとおりです。

### <金属製品事業>

売上につきましては、国内・海外共に拡販に注力いたしました。景気低迷の影響を受け、前年同期に比し各品種において減少し、売上高は前年同期比15.2%減の42億5千6百万円（前年同期50億1千9百万円）となりました。利益面では、売上は大幅に減少いたしましたものの、人件費のみならず徹底した

経費削減等を行いました結果、利益率が改善し、1億1百万円の営業利益（同3億8千万円の営業損失）となりました。

### <レジャー事業（ゴルフ練習場）>

入場者増加施策が奏効し、売上高は前年同期比1.6%増の2億7千6百万円（前年同期2億7千2百万円）となりましたが、設備維持費用の発生により、営業利益は横這いの1億4千6百万円（同1億4千6百万円）となりました。

今後の経済情勢は、一部に明るい兆しが見えておりますものの、引き続き不透明であり、経営環境は依然として厳しい状況が続くものと予想されます。

このような見通しの中、当社グループは2010年度の経営スローガンとして「グループ全員一丸となり、変化を恐れず、新たな価値を創造します」を掲げ、日々変わりゆく市場ニーズ・ウォンツに即応し、新たな価値を提供し続ける体制を築いてまいり所存であります。なお、お客様の期待を超え、感動していただける商品・サービスを素早く提供できる体制にし、「社会の方々と共に豊かな未来を築く」という大きな夢を実現するため、責任と権限の明確化が必要と考え、平成22年5月1日付で、当社の組織をマーケティング本部（カスタマーサービス部・営業部・企画開発部）と経営管理本部（経営企画部・管理部）の2本部に集約いたしました。これにより、お客様のニーズに基づいた商品及びサービスの提供を一貫して迅速に行い、日々変化する経営環境に迅速に対応してまいります。また、フィナンシャル管理室・品質保証委員会・研究開発室を新たに設置し、財務体質の改善・品質保証体制の強化・新たな基軸となる新規技術の開発を実行してまいります。

次期の見通しといたしましては、連結売上高で50億4千万円、連結営業利益で3億1千万円、連結経常利益で1億8千万円、連結当期純利益で9千万円を見込んでおります。

株主のみなさまには、変わらぬご支援、ご指導をたまわりますようお願い申し上げます。

平成22年6月

取締役社長

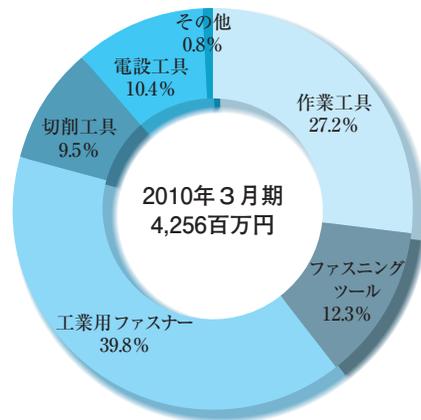
地引俊爲

# 連結業績の推移

## ● 営業成績

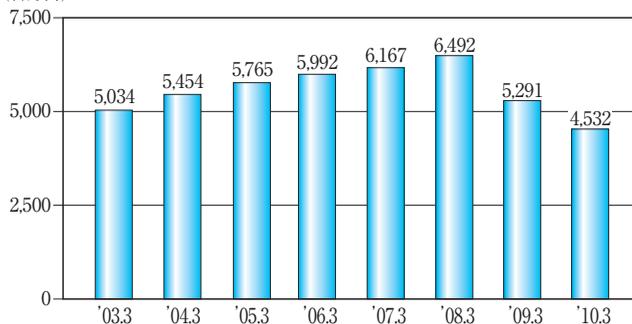
区分	第120期 (2003年 3月期)	第121期 (2004年 3月期)	第122期 (2005年 3月期)	第123期 (2006年 3月期)	第124期 (2007年 3月期)	第125期 (2008年 3月期)	第126期 (2009年 3月期)	第127期 (2010年 3月期)
売上高 (百万円)	5,034	5,454	5,765	5,992	6,167	6,492	5,291	4,532
経常損益 (百万円)	10	228	366	384	203	94	△ 344	157
当期純損益 (百万円)	47	73	192	353	358	△ 114	△ 334	90
1株当たり 当期純損益 (円)	4.23	6.90	17.26	35.47	37.24	△11.72	△35.31	9.63

## ● 金属製品事業における品種別の売上高構成比



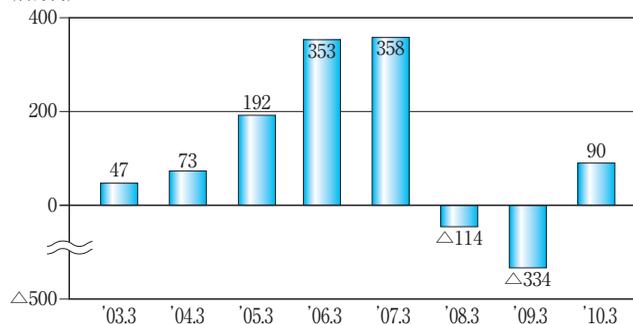
## ● 売上高

(百万円)



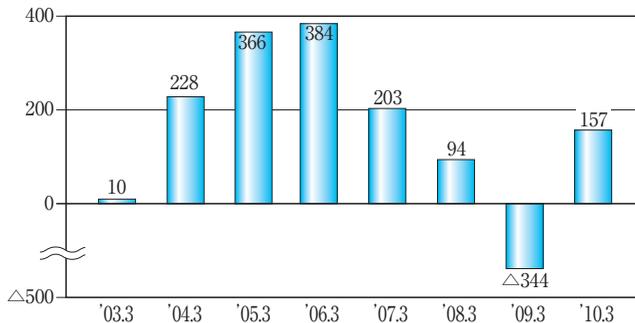
## ● 当期純損益

(百万円)



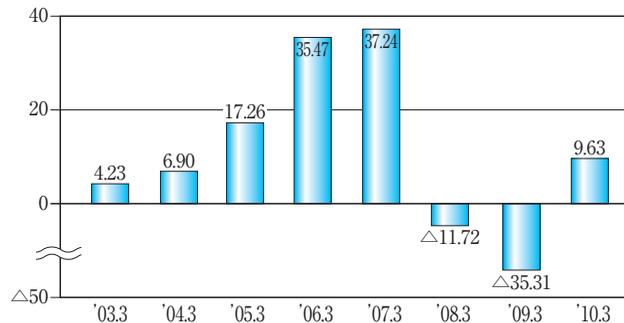
## ● 経常損益

(百万円)



## ● 1株当たり当期純損益

(円)



# 連結財務諸表

## ● 連結貸借対照表

平成22年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	3,578,972	流動負債	3,208,224
現金及び預金	1,074,107	買掛金	169,406
受取手形及び売掛金	849,264	短期借入金	2,348,560
商品及び製品	1,012,758	1年内償還予定の社債	300,000
仕掛品	276,688	リース債務	128,097
原材料及び貯蔵品	278,679	未払法人税等	28,214
繰延税金資産	76,810	その他	233,945
その他	12,813	固定負債	1,870,029
貸倒引当金	△ 2,149	社債	500,000
固定資産	3,281,124	長期借入金	848,738
有形固定資産	2,849,525	リース債務	480,200
建物及び構築物	1,432,341	退職給付引当金	31,388
機械装置及び運搬具	82,376	役員退職慰労引当金	3,120
工具、器具及び備品	33,956	その他	6,582
土地	741,388	負債の部合計	5,078,254
リース資産	558,487	(純資産の部)	
建設仮勘定	975	株主資本	1,724,151
無形固定資産	78,950	資本金	960,000
リース資産	48,788	資本剰余金	491,045
その他	30,161	利益剰余金	421,212
投資その他の資産	352,648	自己株式	△ 148,106
投資有価証券	88,709	評価・換算差額等	12,438
繰延税金資産	126,605	その他有価証券評価差額金	12,438
その他	151,261	少数株主持分	48,875
貸倒引当金	△ 13,928	純資産の部合計	1,785,465
繰延資産	3,623	負債及び純資産の部合計	6,863,720
社債発行費	3,623		
資産の部合計	6,863,720		

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しています。

## ● 連結損益計算書

平成21年4月1日から  
平成22年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	金 額	
売上高		4,532,718
売上原価		2,965,146
売上総利益		1,567,572
販売費及び一般管理費		1,319,399
営業利益		248,172
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	2,922	
受取家賃	4,704	
雇用調整助成金受入額	13,017	
その他	13,351	33,996
営業外費用		
支払利息	74,712	
売上割引	35,853	
その他	14,160	124,726
経常利益		157,441
特別利益		
固定資産売却益	14,719	
貸倒引当金戻入額	6,702	
その他	2,875	24,296
特別損失		
固定資産除却損	8,249	
生産調整関連損失	8,521	
その他	1,707	18,479
税金等調整前当期純利益		163,259
法人税、住民税及び事業税	52,127	
法人税等調整額	11,351	63,478
少数株主利益		9,070
当期純利益		90,709

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しています。

● 連結キャッシュ・フロー計算書 平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	558,548
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,256
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 487,901
現金及び現金同等物の増加額	66,391
現金及び現金同等物の期首残高	1,007,716
現金及び現金同等物の期末残高	1,074,107

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しています。

● 連結株主資本等変動計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位：千円)

	株 主 資 本				株主資本合計	評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自 己 株 式		その他の有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
平成21年3月31日残高	960,000	491,045	330,502	△147,559	1,633,989	7,434	7,434	40,912	1,682,335
連結会計年度中の変動額									
当期純利益			90,709		90,709				90,709
自己株式の取得				△ 547	△ 547				△ 547
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						5,004	5,004	7,963	12,967
連結会計年度中の変動額合計	—	—	90,709	△ 547	90,162	5,004	5,004	7,963	103,129
平成22年3月31日残高	960,000	491,045	421,212	△148,106	1,724,151	12,438	12,438	48,875	1,785,465

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しています。

● 関連会社

会 社 名	株式会社ロブテックス ファスニングシステム	鳥取ロブスターツール 株式会社	株式会社ロブエース	株式会社ロブメディカル
設 立	昭和63年7月2日	平成2年12月6日	平成3年8月8日	平成20年6月4日
資 本 金	1,000万円	5,000万円	5,000万円	1,000万円
住 所	東京都中央区日本橋 堀留町1-5-11 堀留Dビル7階	鳥取県西伯郡大山町 高田1213番地1	大阪府八尾市上尾町 6丁目1番地	大阪府東大阪市四条町 12番8号
事 業 内 容	ファスニングツール 工業用ファスナー卸売業	金属製品製造業	ゴルフ練習場	医療機器の製造販売
代 表 者	代表取締役社長 川邊裕一	代表取締役社長 鈴木 治	代表取締役社長 平田正紘	代表取締役社長 地引俊為

# 会社の概要

平成22年3月31日現在

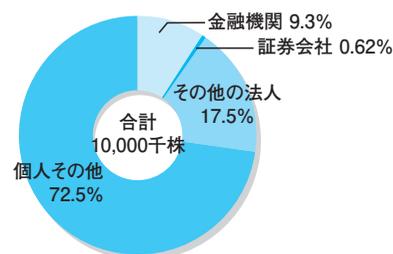
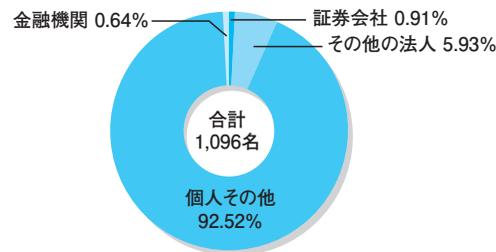
設立 大正12年8月12日  
資本金 960,000,000円  
発行済株式総数 10,000,000株  
本店所在地 東大阪市四条町12番8号  
従業員数 83名(連結172名)  
製造販売品目 作業工具  
ファスニングツール  
電設工具  
切削工具  
工業用ファスナー

## 事業所

本社 / 東大阪市四条町12番8号 (〒579-8053)  
☎072-980-1110(代)  
大阪営業所 / 東大阪市四条町12番8号 (〒579-8053)  
☎072-980-1111(代)  
東京営業所 / 東京都板橋区高島平2丁目6番4号 (〒175-0082)  
☎03-3550-3671(代)  
名古屋営業所 / 名古屋市北区八竜町1丁目40番地 (〒462-0805)  
☎052-915-0431(代)  
福岡営業所 / 福岡市博多区山王1丁目7番9号 (〒812-0015)  
☎092-431-0395(代)

## 株式の状況

発行可能株式総数 45,000千株  
発行済株式総数 10,000千株  
株主総数 1,096名  
所有者別



## 役員 (平成22年6月24日現在)

取締役社長 (代表取締役)	地引俊為
専務取締役	行俊直彦
取締役	豊島尚規
取締役	田邊浩樹
取締役	山口正光
常勤監査役	林邦男
監査役	稲垣貞男
監査役	藤本昇



株 主 メ モ

事業年度  
 定時株主総会  
 基準日

4月1日から翌年3月31日まで  
 毎年6月に開催いたします。  
 定時株主総会の議決権 3月31日  
 期末配当 3月31日  
 中間配当 9月30日

公告方法

※その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日  
 電子公告により行います。

<http://www.lobtex.co.jp/lobtex/ir/>

ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

なお、当社の貸借対照表ならびに損益計算書は、EDINET（金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム）にて開示しております。

株主名簿管理人  
 特別口座の口座管理機関  
 株主名簿管理人  
 事務取扱場所

株式会社だいこう証券ビジネス  
 大阪市中央区北浜二丁目4番6号  
 株式会社だいこう証券ビジネス  
 本社証券代行部

各種お問合せ  
 [郵便物送付先]

〒541-8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号  
 株式会社だいこう証券ビジネス  
 証券代行事務センター

(株式事務に関するご照会)  
 (特別口座に関するご照会)

0120-255-100 (通話料無料)  
 0120-351-465 (通話料無料)